

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 21 年 8 月 27 日 (2009.8.27)

【公開番号】特開 2007-25670 (P2007-25670A)  
 【公開日】平成 19 年 2 月 1 日 (2007.2.1)  
 【年通号数】公開・登録公報 2007-004  
 【出願番号】特願 2006-190960 (P2006-190960)  
 【国際特許分類】

G 0 9 F 9/00 (2006.01)  
 G 0 2 F 1/13 (2006.01)  
 G 0 2 F 1/1333 (2006.01)  
 B 2 3 K 26/00 (2006.01)  
 G 0 9 F 9/30 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 F 9/00 3 3 8  
 G 0 2 F 1/13 1 0 1  
 G 0 2 F 1/1333 5 0 0  
 B 2 3 K 26/00 B  
 B 2 3 K 26/00 G  
 G 0 9 F 9/30 3 4 9 Z

【手続補正書】  
 【提出日】平成 21 年 7 月 10 日 (2009.7.10)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

区画された複数のセル領域を有するベース基板上に金属層を形成する段階と、  
 前記金属層をパターンニングして互いに隣接した少なくとも 2 つのセル領域にかけてセル  
 識別表示部を形成する段階とを有し、

前記セル識別表示部は前記セル領域に対応して、対応するセル領域を識別するための各  
 々のセル識別子を含むことを特徴とする表示装置用母基板の製造方法。

【請求項 2】

前記複数のセル領域は、マトリックス形態に形成されることを特徴とする請求項 1 に記  
 載の表示装置用母基板の製造方法。

【請求項 3】

前記セル識別子は、レーザーを出射するタイトリング ( t i t l i n g ) 装置によって  
 形成されることを特徴とする請求項 2 に記載の表示装置用母基板の製造方法。

【請求項 4】

前記セル識別表示部は、互いに隣接した 2 つのセル領域にかけて形成され、前記互いに  
 隣接した 2 つのセル領域は、同じ行に形成されることを特徴とする請求項 2 に記載の表示  
 装置用母基板の製造方法。

【請求項 5】

前記タイトリング装置は、互いに隣接した 2 つの列ずつ前記複数のセル領域の前記行を  
 順次に移動しながらセル識別子を形成することを特徴とする請求項 4 に記載の表示装置用  
 母基板の製造方法。

## 【請求項 6】

前記セル識別表示部は、互いに隣接した 2 つのセル領域にかけて形成され、前記互いに隣接した 2 つのセル領域は、同じ列に形成されることを特徴とする請求項 2に記載の表示装置用母基板の製造方法。

## 【請求項 7】

前記タイトリング装置は、互いに隣接した 2 つの行ずつ前記複数のセル領域の前記行を順次に移動しながらセル識別子を形成することを特徴とする請求項 6に記載の表示装置用母基板の製造方法。

## 【請求項 8】

多数のセル領域に区画されたベース基板と、  
各セル領域に対応して前記各セル領域を識別するためのセル識別子を有するセル識別表示部とを有し、  
前記セル識別表示部は、前記各セル領域別に互いに異なる位置に配置されることを特徴とする表示装置。

## 【請求項 9】

前記セル識別表示部が配置される互いに異なる位置は、前記セル領域の互いに異なる辺であることを特徴とする請求項 8 記載の表示装置。

## 【請求項 10】

前記セル識別表示部は、互いに隣接した 2 つのセル領域にかけて形成されることを特徴とする請求項 8 記載の表示装置。

## 【請求項 11】

前記セル識別表示部は、前記 4 つのセル領域が接するコーナー部に位置することを特徴とする請求項 8 記載の表示装置。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】表示装置用母基板の製造方法及びそれを用いた表示装置

## 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は表示装置用母基板の製造方法及びそれを用いた表示装置に係り、より詳細には、製品の生産性を向上させることができる表示装置用母基板の製造方法及びそれを用いた表示装置に関する。

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

そこで、本発明は上記従来の表示装置用母基板における問題点に鑑みてなされたものであって、本発明の目的は、製品の生産性を向上させることができる表示装置用母基板の製造方法を提供することにある。

## 【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

又、本発明の他の目的は、上記表示装置用母基板の製造方法を用いた表示装置を提供することにある。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するためになされた本発明による表示装置用母基板の製造方法は、区画された複数のセル領域を有するベース基板上に金属層を形成する段階と、前記金属層をパターンニングして互いに隣接した少なくとも2つのセル領域にかけてセル識別表示部を形成する段階とを有し、前記セル識別表示部は前記セル領域に対応して、対応するセル領域を識別するための各々のセル識別子を含むことを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記目的を達成するためになされた本発明による表示装置は、多数のセル領域に区画されたベース基板と、各セル領域に対応して前記各セル領域を識別するためのセル識別子を有するセル識別表示部とを有し、前記セル識別表示部は、前記各セル領域別に互いに異なる位置に配置されることを特徴とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明に係る表示装置用母基板の製造方法及びそれを用いた表示装置によれば、互いに隣接した2つのセル領域にかけて形成されたセル識別表示部を含む。これによって、液晶表示装置用母基板は、セル識別表示部の個数を減少させることができる。セル識別表示部には、2つのセル識別子が形成され、セル識別子は各セル領域に対応して位置する。タイトリング装置は、一つのセル識別表示部が形成された2つのセル領域が配置された方向と直交する方向にセルアレイをスキャンする。タイトリング装置は、一つのセル識別表示部に2つのセル識別子を形成した後、次のセル識別表示部に移動する。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

次に、本発明に係る表示装置用母基板の製造方法及びそれを用いた表示装置を実施するための最良の形態の具体例を図面を参照しながら説明する。